

2010年3月2日  
浦和ロイヤルパインズホテル

## Media release

【報道関係各位】

カナダ・リッチモンド市で開かれた【2010年アイスアート世界大会】にて  
当ホテルのスタッフ 木村裕昭が準優勝を獲得

2月5日～7日にカナダのオタワ市で開催された世界氷彫刻大会では優勝を獲得し、  
冬季オリンピック開催中にカナダで行われた2つの大会で  
金メダル・銀メダル獲得という快挙を成し遂げました。



“氷彫刻のオリンピック”とも呼ばれる本大会で準優勝を獲得し、  
五輪マークの入った銀メダルとともにほほ笑む木村

2月20日(土)・21日(日)にカナダのリッチモンド市で開催された「2010年アイスアート世界大会 団体戦」において、浦和ロイヤルパインズホテル(さいたま市浦和区仲町2-5-1 総支配人:茂木 義之)のアートカービングデコレーター 木村 裕昭(きむら ひろあき/42歳、青森県出身)が、準優勝を獲得いたしました。

本大会は、冬季オリンピック開催地にて4年に1度開催される氷彫刻の世界大会で、今年はアメリカ、カナダ、そして日本など、6ヶ国12チーム24名が参加し技を競い合いました。木村はグランドプリンスホテル高輪の小阪 芳史(こさか よしひと)さんとコンビを組み、約12時間をかけて作品を仕上げ、見事準優勝を獲得。同じく日本代表として出場したもう1つのペアは第3位を獲得し、氷彫刻における日本のレベルの高さを示す結果となりました。

木村は、先月カナダのオタワ市で開催された「第23回クリスタルガーデン世界氷彫刻大会」で優勝しており、バンクーバー冬季オリンピック開催中にカナダで行われた2つの氷彫刻世界大会において、金メダルおよび銀メダル獲得という快挙を成し遂げました。

## 【アイスアート世界大会とは】

1988年のカルガリー冬季オリンピック以来、オリンピックアイスアートフェスティバルの文化活動の一環として、4年に1度冬季オリンピックの開催地で行われている氷彫刻大会で、各国から選手が参加して互いの技術や才能を競い合い、貴重な体験を共有し親睦を深めることを目的としています。

## 【「2010年 アイスアート世界大会 団体戦」審査結果】

第1位:アメリカ

第2位:日本

[グランドプリンスホテル高輪 小阪 芳史(こさか よしひと)さん×浦和ロイヤルパインズホテル 木村 裕昭(きむら ひろあき)]

第3位:日本

[ホテル グランパシフィック LE DAIBA 曾根 秀幸(そね ひでゆき)さん・村上 幸司(むらかみ こうじ)さん]

## 【完成作品のサイズ】

高さ: 約 2m50cm 横幅: 約 3m 奥行: 約 50cm



**木村 裕昭 (きむら ひろあき)**

**浦和ロイヤルパインズホテル アートカービングデコレーター**

1967年5月青森県生まれ。

工業高校卒業後に機械関係の会社での勤務などを経た後、91年新横浜プリンスホテル入社。宴会調理の仕事をしてながら、氷彫刻の達人である先輩からカービング(彫刻)を教わり技術を磨く。99年浦和ロイヤルパインズホテル入社。同年行われた「クリスタルガーデン世界氷彫刻大会 個人戦」での優勝を皮切りに数々の受賞歴を誇る。

## 【主な受賞歴】

1999年	「クリスタルガーデン世界氷彫刻大会」個人戦	優勝
2004年	「国際氷彫刻コンテスト」	第3位
2008年	「第3回国際氷彫刻フェスティバル」	第2位
2009年	「第1回フルーツカービングコンテスト」	第3位
2010年	「第24回中国ハルビン国際氷彫刻大会」	第3位
2010年	「第23回クリスタルガーデン世界氷彫刻大会」団体戦	優勝



準優勝受賞作品 「光に向かって」

このリリースに関するお問合せは:

浦和ロイヤルパインズホテル

マーケティング部 PR担当 磯西 恭子

E-Mail [k-isonishi@royalpines.co.jp](mailto:k-isonishi@royalpines.co.jp) /HP <http://www.royalpines.co.jp/urawa>

TEL:(048)827-1181(直通) / FAX(048)827-1115